

# 岐阜県社会福祉士会

## 岐阜支部 司法福祉委員会 合同研修会のご案内

### 刑事司法と福祉

～ 社会福祉士として必要な理解と実践について ～

刑事施設に収容される受刑者のうち約6割が再入所者であり、犯罪を減らすためには再犯防止が課題となっています。また、受刑者の2～3割は疑いも含めた知的障害があるとの調査結果も報告され、高齢者と共に、福祉を中心とする社会復帰後の支援の拡充が求められています。今回の研修では、日本福祉大学から鷲野明美先生をお招きして、刑事司法と福祉についての支援体制について学び、私たち社会福祉士に求められる役割を考えます。



日時：令和4年11月27日（日） 13:30～15:00

講師：鷲野明美先生

対象：岐阜県社会福祉士会の正会員

方法：ZOOM（参加には、パソコンやスマートフォンなどのWEB環境が必要です。）

申込方法：メール、QRコードのいずれかの方法によりお申し込みください。締切：11月23日

○ メールの場合：件名に「11月27日研修申込」、本文に「参加希望」「氏名」「電話番号」を記載し、『[sw.gifu2944@gmail.com](mailto:sw.gifu2944@gmail.com)』宛にメールをお送りください。

○ QRコードの場合：申込専用サイトにアクセスし、必要事項を入力して送信してください。

こちら→



お問合せ先 古田：080-6945-1913 原：090-2686-8978

#### 講師情報



「お名前」 鷲野明美先生（日本福祉大学 福祉経営学部 医療・福祉マネジメント学科教授）

「研究分野」 社会福祉学（司法福祉）、刑事法学（刑事政策）

「研究テーマ」 罪を犯した高齢者・障害者への福祉的支援のあり方

ドイツにおける高齢受刑者への処遇

日・独・仏における高齢受刑者政策～ソーシャルワーカーの役割～

刑事司法におけるソーシャルワーカーの役割～日・独・仏・瑞での取り組みから～

#### 「来歴」

1974年生まれ。97年に社会福祉士として愛知県佐屋町（現愛西市）に採用され、2013年まで同町在宅介護支援センター、同市地域包括支援センターに勤務。健康科学大准教授などを経て19年から現職。名古屋地検社会福祉アドバイザーも務める。

#### 「主な著書」

『司法福祉・実践と展望一少年司法、刑事司法、医療観察、被害者支援一』

『刑事政策におけるソーシャルワークの有効性～高齢者犯罪への対応に関する日独比較研究～』

『医療福祉相談ガイド追録第100号』